

開講学科	総合デザイン工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	エンジニアリングデザインワークショップ	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	選択	18103201	
担当教員	駒田 剛司、稲見 成能	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	土曜日・夏季休業中	集中
授業の教育目的・目標	<p>目的:「つくり手」としての建築設計者にとって極めて重要な「ものをつくる喜び」の感性を育むこと。</p> <p>目標: (1)設計内容(イメージ)と実制作したモノ(実空間)の意匠的・構造的因果関係を理解する。  (2)共同作業の進め方を習得する。  (3)基本的な工具の使用方法を習得する。</p>				
学科の学習・教育目標との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築計画、建築設計、都市計画などに関する学修を通じて、人にとって快適な建築物と生活空間を設計することのできる技術と能力を養う。</li> <li>・ 材料工学、材料実験、建築施工などに関する学修を通じて、建築材料や施工についての基礎的知識と技術力を養う。</li> </ul>				
キーワード	ワークショップ、設計、施工、図面表示、実制作、グループ作業				
授業の概要	<p>具体的なテーマに沿った、小規模な建築的空間の設計から実制作までを、主としてグループ作業により行う。設計内容とそれを基に制作した実空間の対応関係を現実のものとして確認すること、建築材料の性質や構成の理解、構造的センスの喚起、共同作業の方法や重要性についての理解、工具類(主として木工用)の基本的な使用技術の習得等を目指す。</p>				
授業の計画	第1回:	課題出題、グループ分け(全担当教員)			
	第2回:	関連講義、エスキースチェック、現地調査、等(全担当教員)			
	第3回:	エスキースチェック、制作準備、等(全担当教員)			
	第4回:	実制作作業1(集中授業)(全担当教員)			
	第5回:				
	第6回:	実制作作業2(集中授業)(全担当教員)			
	第7回:				
	第8回:	実制作作業3(集中授業)(全担当教員)			
	第9回:				
	第10回:	実制作作業4(集中授業)(全担当教員)			
	第11回:				
	第12回:	実制作作業5(集中授業)(全担当教員)			
	第13回:				
	第14回:	実制作作業6(集中授業)、講評会(全担当教員)			
	第15回:				
受講条件・関連科目	<p>受講条件: 上位学年・他学科履修となる受講者は不可。</p> <p>学生傷害保険への加入(入学時に加入していない者は事務局にて手続きする)。</p> <p>関連科目: デザイン基礎、建築設計Ⅰ、建築構造、材料工学</p>				
授業方法	<p>授業期間前半は準備期間とし、関連講義や設計作業、エスキースチェックを講義室や製図室等で行い、またフィールド調査を学外で行う場合がある。後半は制作期間とし、荒子町のワークショップ演習地や管理棟131 建築デザインスタジオ1を作業拠点として夏期に集中的に実制作作業を行う。</p>				
テキスト・参考書	参考書として、木構造およびDIYに関する書籍等に目を通しておくことを推奨する。				
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験( %) ・ レポート(50%) ・ 小テスト( %)</li> <li>・ その他( 受講態度 )(50%)</li> </ul>				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の日程等に変更がある場合があるので、掲示連絡に注意すること。</li> <li>・ グループ作業を主体とするので、他のメンバーと協調することが重要である。</li> <li>・ 制作作業に相応しい服装等の準備が必要となる。</li> <li>・ 制作作業は危険をともなうので、教員の指示を守り、集中力の維持に努めること。</li> </ul>				